

第542回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和5年9月13日（水）午前11：00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 6名
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
委員長 林 新一郎
副委員長 井口 弥寿彦
委員 浅井 隆彦
委員 武重 正史
委員 中山 潔
委員 南澤 光弥
○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
委員 加藤 恵美子
委員 笹本 正治
○放送事業者側出席者名
外山 衆司 （代表取締役社長）
船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）
久保 善一 （取締役 報道制作・企画事業担当）
西條 彰浩 （報道制作局長）
早川 英治 （編成業務局長）
浅輪 清 （編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長）
北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）
伊藤 晴彦 （報道制作局次長）
宮嶋 聡 （制作部）

4. 議題

- (1) 番組審議

『 NBSフォーカス∞信州 一個一会 ～手間をかさねて～ 』

令和5年6月30日（金）夜7時00分～ 放送

(2) 視聴者対応報告（令和5年7、8月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・映像自体が職人芸だと思えるくらい非常に綺麗な映像で視聴した印象がある。
- ・手仕事で手間を掛けて作り込んだ物の価値というものを改めて再認識させた非常に興味深い番組だった。
- ・素材が身の回りの製品へ変化する様子をつぶさに捉えていてそれが大変楽しく、カメラが実際の工程や工法に迫って熟達の技術を見せていたので驚きと共に大変興味深く視聴した。
- ・工程の前後を見比べられるようにして、この工程を経てその物がどういう風に変化して行ったかというところも分かりやすかった。
- ・職人さんがどういう風に力を入れているのか、映像では分かりきらない部分を矢印とか図を使って、それを映像と合わせながら見られるようにして良い工夫だと思った。
- ・三者三様、事業形態やそれぞれの立場が違う方を取り上げていたので、考え方や人となりみたいなものが随分違ってくることが感じられて面白かった。
- ・全体として職人の皆さんの熟達の技を楽しめると同時に、各々の人生観や生き方

が垣間見えるような大変に味わい深い複眼的な視点からの番組だった。

- ・30代から40代と今後も一層の活躍が期待される世代が頑張っている姿を見せていただいて自分自身、前向きな清々しい気持ちにさせてもらった。
- ・三人とも揃って作業に当たる指先までカメラが迫って撮影することを許してくれていたなので、細やかな手さばきの程が非常に良く分かった。
- ・テロップでこのくらいの価格帯で売っていますというのを三人とも出してくれたので、とても親切でありがたかった。
- ・未来に向けて、効率化しなくちゃいけない部分と、残さなければいけない温もりという職人技ということが番組を見た後に考えさせられるということで、良い番組をタイムリーに作った。
- ・日頃見慣れない職人さんの道具にもスポットを当て、その解説も丁寧で良かった。
- ・リポーター、アナウンサーを登場させなくて、三人の職人の方々の語りや仕事ぶりの映像に特化したことは良かった。この三人の方は自分の今の仕事に誇りを持っていて、物作りが好きでというところが良く表現されていた。
- ・自動化できる所はしていったって少しでも生産性を上げていくことによってこの製品を世に出したいという気持ちもよく分かると感じた。
- ・使い手への思いや配慮をもっとクローズアップし、もう少し象徴的に抜き出していくと感動が増したと思う。
- ・視聴者がテレビを見ただけで五感をくすぐられて、手に取っているような感覚になって触っているような印象になるのを映像で伝えることを今後も伝え方の部分で研究してほしい。
- ・漆芸の作家と同時にライフスタイルも合わせて表現したいというような表現者としての感性だとか思いといったものを色濃く感じた。
- ・息子さんと一緒に映像がとても印象的で、豊かな生き方といったような言葉も連

想させるような非常に印象的な場面だった。

- ・ 様々な機械を導入して設備投資のリスクだとか電気料やメンテナンスの負担だとかコストだとかも背負ってやっているということで、どちらかという与企业者だとか経営者のお立場、覚悟だとか気概といったようなものも色濃く感じるような映像だった。
- ・ 品質を変えずにもっと早く作る体制を整えていきたいと肩ひじ張らずに話す様子に、彼のこだわりと合わせて柔軟さも兼ね備えているこれからの手仕事職人の姿を見た思いがした。
- ・ 「一個一会」のタイトルだけだと見るまでは番組の内容が分かり辛かった。手仕事職人というのをもう少しストレートに出した方が広い皆さんが見てくれるのではないかと感じた。
- ・ 職人を束ねる方としての生産管理上の工夫だとか人材育成の予定みたいなこともインタビューでもう少し出てくると、更に他の方との違いが際立って面白かった。
- ・ 欲を言えば後進への伝承という切り口がもうちょっとあると、この技は今後どうなっていくのだろうというところも気になるところだったので、そういった所にも言及していれば良かった。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき、令和5年7、8月分の視聴者対応について編成部より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・第541回番組審議会（令和5年7月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和5年7、8月分）
- ・モニターレポート
- ・BPO報告（NO.254、255）
- ・民間放送（第2217、2218号）
- ・第543回番組審議会資料及びDVD

以 上